

「せかい×まなびのプラン」について

< 趣 旨 >

- 我が国の成長のためには、世界的な企業をつくる力、国際共同研究を行う力、外交等世界と対等に交渉する力などを有する**グローバルリーダーの育成が急務**であり、その核には、国際対応能力（グローバル・コンピテンシー）の育成がある。
- より多くの日本人を留学に送り出すことにより、**アイデンティティを確立しながら、多様な価値観を持った他者との協働の中で新たな価値を見出し、イノベーションを創り出す経験が必要**。
- さらに、研究分野では学生に留まらず国際頭脳循環を促進し、優秀な若者が世界で活躍するとともに、優秀な人材を我が国に惹きつけ、**国際的なネットワークを強化**する必要がある。
- また、我が国の競争力向上のため、優秀な留学生・人材を惹きつけることも不可欠であり、そのためには、**大学の教育研究やそれを支えるキャンパスの質及び魅力の向上が重要**。同時に、**外国人子弟が安心して学べる環境を提供**するなど、**誰もが安心して暮らして学び、個々の能力を最大限発揮できる共生社会を構築**することも求められている。

➤ 令和5年8月29日に永岡大臣より「せかい×まなびのプラン」を公表。

1. 日本からの留学・人材の交流

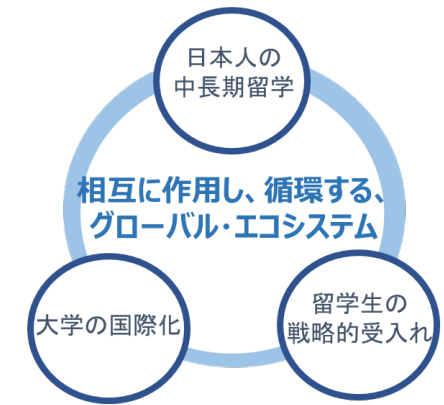
留学への機運を醸成した上で、本格的な留学への送り出し・頭脳循環への参画を推進多様な他者と協働し、新たな価値を生み出す人材を育成

2. 優秀な留学生や人材の受入れ・定着

より多くの優秀な留学生を受け入れ、日本と世界の成長や発展、高等教育の国際通用性・競争力の向上とともに、国際社会に開かれた日本社会を共につくる一員として留学生を受け入れる

3. 大学の国際化

留学生交流の基盤となる大学について教育の海外展開による留学生誘致や、地域と共に国際化を図ることによる留学生が定着しやすい環境のソフト・ハード一体の整備



< 令和6年度重点施策のポイント >

1. 世界と日本・地域を結び「大学」の国際拠点化の推進
大学内部に留まらない更なる国際化を推進するため、「国際的な大学によるソーシャルインパクト創出支援事業」を新たに展開

2. 産官学を挙げた留学支援強化
・日本人の中長期留学のための海外留学支援制度等を大幅拡大
・貸与奨学金の代理返還制度の利用促進
・「トビタテ！留学JAPAN」第2ステージの推進

3. G7、ASEAN等重点地域との戦略的連携強化/国際頭脳循環の促進
・「大学の世界展開力強化事業」により、G7、ASEANとの共同教育プログラム作成
・G7、ASEAN、インドからの留学生受入れのための奨学金を重点的に拡充

4. 戦略的な国際展開のための情報収集・留学生誘致機能強化
・JASSOの諸外国の情報収集・分析機能の抜本的強化
・大学、JASSO、在外公館、関係機関が一体となり重点地域での早期からの受入強化等を推進

※その他、在外教育施設の機能強化や初等中等教育段階の英語教育の充実など留学・国際交流関連施策を取りまとめ